

第1429号

AFN-1429

Timely

1994年1月17日創刊 毎週発行
葵総合経営センターだより週刊版

2022年 8/29 (月)

『「物価高」理由の倒産急増 7月は単月で最多の31件』

帝国データバンクは原材料の仕入れ価格上昇や、十分に価格転嫁できないことが原因で経営に行き詰まった「物価高」倒産が、2022年7月は単月で最多の31件になったと発表した。22年1～7月は116件に達し、過去5年で最多だった21年(138件)を大幅に上回るペースで推移している。同社は(1)早ければ8月にも年間最多件数を更新する可能性が高い(2)価格転嫁が難しい中小・零細企業を中心に、「物価高」倒産がさらに増えるおそれがある—とみている。調査開始の18年1月から22年7月までに判明した「物価高」倒産は累計558件となった。



22年の116件を業種別に見ると、燃料高の影響が大きい「運輸業」が33件で最も多かった。全体の約3割を占める。以下、木材・資材高の余波を受けた「建設業」(27件)、「卸売業」(18件)、「製造業」(15件)、「小売業」(9件)などが続いている。「物価高」倒産の約8割は負債5億円未満の中小企業が占めている。業種詳細別に見ると、「運輸業」(33件)が最多。以下、「総合工事」(16件)、小麦や油脂の世界的な価格上昇の影響が大きい「飲食料品製造」(11件)、「飲食料品卸売」(9件)、「職別工事」(8件)、「飲食料品小売」(6件)などの順。

『労働衛生意識高揚への取組み R4年度全国労働衛生週間実施』

厚生労働省は第73回全国労働衛生週間を実施する。9月1日から9月30日までが準備期間、10月1日から10月7日までが本週間となる。各職場での巡視やスローガンの掲示、労働衛生に関する講習会、見学会の開催などが予定されている。

全国労働衛生週間は昭和25年以降、国民の労働衛生に関する意識の高揚、事業場における自主的労働衛生管理活動を通じた労働者の健康確保のために毎年開催されている。今年度のスローガンは「あなたの健康があつてこそ笑顔あふれる健康職場」に決まった。近年、過重労働による健康障害や精神疾患の増加など、職場における健康確保の重要性が高まっている。新型コロナウイルス感染症の脅威が続く中、休業4日以上労働災害は令和3年に19,000人以上発生するなど、感染症対策も重要な要素となっている。

また、高年齢労働者の増加に伴い、転倒・腰痛災害も増加傾向にある。安全対策に加えて、若年期からの健康づくり等の取組みも重要視されている。我が国では、労働人口の約3人に1人が何らかの疾病を抱えながら働いているとされている。労働力人口の減少が叫ばれる中、職場において病気を抱えた労働者の治療と仕事の両立への支援も必要となるだろう。



出典元: 日本中小企業経営支援専門家協会(JPBM) ※本記事・内容の無断転載を禁じます

21世紀を創造する中小企業のベストパートナー

〒460-0012 名古屋市中区千代田三丁目14番22号

葵総合経営センター

(葵総合税理士法人)

TEL : (052) 331-1768 FAX : (052) 332-5282

『Homepage』 <http://www.aoi-cms.com/> 『e-mail』 aoi@aoi-cms.com